

# 連立方程式の利用①

組 番 名前

---

- 1 1個70円のおめ玉と、1個90円のガムを合わせて10個買ったら、代金の合計が780円になった。  
おめ玉とガムをそれぞれ何本買ったか求めたい。

① おめ玉を  $x$  個、ガムを  $y$  個買ったとして、連立方程式をつくった。ア、イにあてはまる数、または式を答えなさい。

$$\begin{cases} x+y & = (\text{ア}) & \dots\text{①} \\ (\text{イ}) & = 780 & \dots\text{②} \end{cases}$$

ア \_\_\_\_\_ イ \_\_\_\_\_

② ①の連立方程式を解いて、おめ玉と、ガムの個数をそれぞれ求めなさい。

おめ玉 \_\_\_\_\_ ガム \_\_\_\_\_

- 2 ある博物館の入場料は、大人2人、子ども3人で2300円、大人5人と子ども8人で5900円である。  
大人1人の入場料を  $x$  円、子ども1人の入場料を  $y$  円として、連立方程式をつくり、買いを求めなさい。

大人1人 \_\_\_\_\_ 子ども1人 \_\_\_\_\_

- 3 3000円持って、ケーキを買おうとしたところ、ケーキAを7個とケーキBを5個買うと60円不足したので、  
ケーキAを5個とケーキBを7個買ったところ、60円のおつりをもらった。

ケーキA、1個の値段とケーキB、1個の値段をそれぞれ求めたい。

① ケーキA1個の値段を  $x$  円、ケーキB1個の値段を  $y$  円として、連立方程式をつくりなさい。

② ケーキAとケーキBの値段をそれぞれ求めなさい。

ケーキA \_\_\_\_\_ ケーキB \_\_\_\_\_